

ジュニアリーダーとしての ファシリテーション の 実践について

この文章は、ファシリテーションについての一般的な解説を、今回の研修会用として
要約・編集したものです。

文責：中川紀恵

伝えたいこと！

- ▶ ①ファシリテーションとは何か？
- ▶ ②なぜ必要か？
- ▶ ③ジュニアリーダーが学ぶメリットは？
- ▶ ④実際、どんなことをするのか？
- ▶ ⑤やってみよう！

①ファシリテーションとは？

Facilitation

**「人々の活動のプロセスについて支援し、
うまく ものごとが運ぶように
サポートすること」**

ファシリテーション能力とは、

「リーダーシップ」の一つの形・アクションであり、
コミュニケーション能力の一部と言えます

② 「ファシリテーション」を 何のために行うのか？

キーワード

- 達成・完了・納得・自己実現
- ・表現・成長・決定・アイデア創造
- ・問題解決・情報共有・相互理解

その場面ごとに「目的」は異なる

どんな場面で？

- ミーティング
- 会議
- 研修（学びの場）
- 地域の活動
- 子育て

どんな状況で？

年齢や育った環境の違い、国や文化の違いなど、
いろいろな人がいる社会では、

誰かに教えてもらう答えより、

集団で考えて、みんなで決める

答え が求められる

③ジュニアリーダーが
ファシリテーションを学ぶ
メリットは？

これから求められるリーダー像

(どこで? : 社会・地域・人間関係・家族)

今までの「困った！」が解決するかも！

(研修会や学校で、困ったことはありませんか?)

前向き

～リーダー像〈1〉

どんな状況でも、不機嫌やネガティブになるのはやめよう。

肯定的な影響力を発揮することを意識してみよう。

オープンマインド ~リーダー像〈2〉

まずは、どんな意見でも受け入れよう。

正しいか正しくないかの判断は、メンバーが
します。

もし、自分が賛成できなくても、メンバーの
意見、考え方、発想、着眼点、発言したとい
う勇気など「いいね！」を見つけて、発信し
よう

好奇心

～リーダー像〈3〉

明るく心地よく、意見が自然と出てくるような雰囲気をつくるためには、ファシリテーター自身が話し合いを楽しんでいて、どんな成果が出てくるかわくわくしていることが大切です。

緊張していたり、必死すぎたり、興味がなかったりすると、メンバーに伝わります。

客観性

～リーダー像〈4〉

メンバー全員にとって、意見を出しやすいように、常に中立の気持ちでいること。

- ・かたよらない
- ・とらわれない
- ・こだわらない

目的意識

～リーダー像〈5〉

生産性の高い話し合いにするために、
出された意見や質問が、「目的」から
ずれていないか、話が脱線していないか、
チェックしていよう。

システム思考

～リーダー像〈6〉

一つの発言や決め事が、誰にどのような影響を及ぼすかを考えよう。

メンバーに気づきを与えたり、考えることを促す役割であるファシリテーターは、自分の発言の影響力を知っておく必要があります。

個々の最適化（自分の都合）ではなく
「全体の最適化」「本質的な解決」を目指そう

行動力

～リーダー像〈7〉

影響力・説得力を正しく発揮するためには、口だけでなく、自分自身が積極的に行動に移すからこそ、まわりはそれを見て触発されるものです

④ どんなことをするのか？ どうするのか？

1. 客観的な立場に自分を置いてみよう
2. 参加者（メンバー）が主役！
3. 介入するのは必要な時だけ！
4. 場の状態を把握しよう

1. 客観的な立場に自分を置いてみよう

自分の思いなど、伝えたいことに必死になりすぎず、周りで起こっていることに目を向けてみよう

2. 参加者（メンバー）が 主役！

効率をあまり重視しすぎず、メンバーの
主体性を伸ばしてみよう

3. 「介入」するのは必要な時 だけ！

順調に進んでいる時は、何もしなくても
いい場合もあります

話に停滞や混乱がある場合は、必要な言葉
がけをしてみよう

「引っ張る」「尻を叩く」ではない！

4. 場の状態を把握しよう

メンバーについて：

発言したいけどできないでいる人、不満げな人、場に参加できていない人、などがいないか

内容について：

「目的」に向かって話が進んでいるか、脇道にそれていないか（多少の脱線は時にはOK！）

発言したいけどできないでいる人

- ・ 考えをめぐらせていて、それを言葉にするまで時間がかかる人

場に参加できていない人

- ・ 興味がなくて参加する気がない
- ・ おだっている
- ・ 緊張している

目的に向かって話が進んでいるか？

話合いが停滞していないか？

**「目的」をみんなが
共有しているか？**

⑤ やってみよう！

上級研修会

学びましょう

中級研修会

学んだことを伝えましょう

テーマ研修「防災ひろば」

学んだこと・伝えたことを確認
しましょう

あとで説明します

実際にチャレンジ！

今回は「何かを作り上げる」の目的ではない

責任感が強い人ほど

「取りまとめなければいけない」

という思いを持ちがちなので、気をつけて！

役割分担

- ・自分の役割と、まわりが何をしているかを意識しよう

日程

- ・10月から始まります

目的

- ・「会の目的」と、「自分の目的」を意識しよう

ファシリテーターの心構え

- ・ 中立を心がける
- ・ 人の話を積極的に聞き、他のメンバーにもそうするように促す
- ・ 個人や発言が非難されたり無視されたりしないようにフォローする
- ・ 意欲を引き出すような、言葉がけ、表情、体の動きを
- ・ 発言する人が偏らないように気を配る

- ・ メンバー同士の話し合い大歓迎
- ・ 意見が違ふことも歓迎
- ・ 出た意見への便乗も大歓迎

- ・ **「目的」を常に意識する**

最後に伝えたいこと！

▶ 状況は変わります

「いつまでもこれが正しい！」という思い込みは危険かも…
どんどんバージョンアップしてみよう
時には、いっそ「チェンジ！」もあり！

▶ 仲間がいるっていいね！

ファシリタのスキルを「仲を深めるため、お互いの理解を深めるため」にも活用してみよう

▶ あなたを見て育つ誰かがいるかもしれない

姿を、ふるまいを、表情を、背中を見て、誰かが続いてくれますように…

上級研修生のみなさんにとって、
よい学び となりますように・・・